

# 太宰府中学校 2学年だより

No.16

R1.9.6

文責：石橋 眞子

## 勉活！

～お互いに「学びあう」良さを、成績アップにつなげましょう～

前期後半が始まって2週間たちました。前期後半は、約1ヶ月ほどしかありませんが、その間に期末考査・生徒会役員選挙・修学旅行の準備・文化祭の準備と慌ただしい日々を過ごします。

ここ近年の残暑の厳しさや豪雨などの気候変動で、体調が優れない人も見られましたが、日がたつにつれ、自分でコントロールできているようです。さすが皆さんですね。

さて、今週の頭に夏課題テストが終わったばかりですが、来週末には、前期の期末考査が行われます。今回は9教科で、試験範囲も広いので、計画的に少しずつ復習していくことが大切です。

太宰府中学校では、「10days Try」という家庭学習の習慣化をはかる取り組みを行っています。また、定期考査の数日前には、「とびうめ学習会」という放課後の時間を使った期末考査対策学習会を行っています。

学習会では、特に先生達から「これをしなさい」と教材やプリントを与えることはしません。勉強する場所だけ与えて、あとは、皆さんの学習スタイルに任せています。

前回（前期中間考査前の学習会）の皆さんの様子を見ると、グループを作って教えあうスタイルや、一人で集中して取り組むスタイルなど、その様子は様々でした。時には、ちょっとした雑談もありましたが、それもいつまでもしゃべり続けるのではなく、自然とやめて、集中して取り組んでいました。

どのようなスタイルでも、集中して取り組む方法であれば良いと思います。

ここでは、「学びあい」の良さについて、お話ししたいと思います。下は、授業で「学びあい」を取り入れている中学校のコラムの一部です。



「学び合い」の良さは、気兼ねなく「教えて」と言えることです。わからないときは「教えて」といいます。言われたら必ず相手がかかるまで教えてあげます。

グループになったら一人残らず助けます。誰一人として見捨てないのがルールです。人は他者に依存しながら自立します。自立できる人は多くの依存先を持っている人です。たくさんの友達と「教えて」「いいよ」「ありがとう」の会話の中で学級が心の居場所となっていくます。

どんなに先生が上手に教えても、すべての子共たちが満足する授業は難しいものです。ましてや、能力差のあるすべての子どもの学びを毎日保障することはとても難しいです。そこで、子供同士の「関わりあう力」を借ります。

「すぐ問題を解けるような子どもは、人に教えてばかりで学力が上がらないのではないか？」と思われがちです。しかし、相手に分かるように教えるということは「自分自身の学び直し」をすることです。このことが深い理解につながります。

教えあい、学びあうことは、「わからないことを尋ねるのは恥ずかしい」「勉強しててもすぐあきてしまう」などの、後ろ向きになりがちな心を助ける効果があると思います。

実際、前回の学習会で、これまでにない良い点数を取れたという声を聴きました。授業の中で「学びあう」「教えあう」場はたくさん出てきます。「お互いに遠慮なく声をかけあえる」雰囲気継続してほしいと思います。

## ★最近ちょっと気になること～

### Q1 忘れ物はだれの責任？

誰でも、うっかり忘れ物をすることはありますが、この頃、よく公衆電話の前で「〇〇を忘れたから、急いで持ってきてよ！」と受話器に向かって叫ぶ姿が見られます。忘れ物をしたことに気づいて、慌てておうちのかたに頼んでいるのでしょう。

しかし、ちょっと待ってください。忘れ物をしたのは誰でしょうか。

あなたが学校に行っている間、お家の方はお仕事をしていることでしょうか。お仕事の手を止めて、持ってきてくださるのはとても大変なことです。もし、高校に進学して忘れ物したら、同じように親御さんに電話して持ってきてもらいますか。

忘れたことを自分のせいとして受け止め、恥をかく経験や、今度忘れ物をしないためにはどうしたら良いのか考える知恵を身につけることも、将来のために大事な勉強だと思います。



### Q2 教材のワークは何のため？

テスト時期になると、毎回「ワークの提出」の連絡があります。

前回もそうですが、この時期に決まって「ワークが終わらずに」あせっている人と、すでに終わっている人との姿が見られます。

特に、今回は、夏休み前に連絡していたにもかかわらず…です。

一体「この差って」何でしょう？

そもそも、ワークは何のためにあるのでしょうか。「提出期限に間に合わせるために」あるのでしょうか。

ワークを教材として取り入れる理由は、主に次の2つだと思います。

- ・繰り返し練習する必要がある学習内容（数学の計算・英単語・漢字など）の補充
- ・習得する語句や用語が特に多い学習内容（社会の地理や歴史用語など）の確認



学習したことをより理解してほしいために、先生が選んで、お家の方がお金を出して下さっている教材です。何のためのワークか、目的を間違えることなく、自分のためになる使い方を身につけてほしいものです。

## ★インフォメーション～

皆さんが世の中のことや将来のことに興味を持てるよう、学年掲示板にさまざまな掲示物を（新聞の記事）貼っています。

新聞の文字が若干小さいのですが、読んでいる人がいると嬉しくなります。

その中の「もっと教えてドラえもん」では、世の中の出来事を「ドラえもん」の漫画でわかりやすく紹介しています。この機会に、新聞（ラテ欄以外も）を読む習慣をつけてみませんか。

※追伸：学年通信に保護者の方々から励ましの言葉をよくいただきます。うれしい限りです。

拙い文面ですが、ご家庭の話題にそえていただければ幸いです。

～これからの太宰府中学校を担うみなさんの課題は「やってみよう！」の心です！～

楽しかった夏休みもとうとう終わり、今日から前期後半が始まりました。今朝は寝過ごさずに気持ちよく起きることができましたか。

今年も猛暑日が続き、連日ニュースで最高気温や熱中症対策について報道されました。家の中にいても熱中症になることがあり、多くの人々がこの暑さで苦しみました。

私も、部活動で頑張る皆さんの姿を気にかけて見っていました。それでも、皆さんが真っ黒に日焼けした顔で「先生、こんにちは！暑いですね！」と元気に声をかけてくれたことがとてもうれしく、ほっとしていました。

この夏休みは、部活動のリーダーとなって暑さと闘いながら一生懸命頑張ったことでしょう。部活動で鍛え上げられて、体つきも顔つきもずいぶんたくましくなっています。ぜひ、その頑張った姿勢を、今日からの学校生活につなげていきましょう。

以前、ある本で「部活動と勉強は竹馬のようなもの」という内容について書かれていたのを読んだことがあります。

竹馬とは、昔の遊具で、2本の竹さおの途中に横木をつけ、それに足をのせてさおの上部を握って歩くものです（右図）。

竹馬の二本の足は、片側ずつしか前に出せません。片方の足が前に出ているとき、もう一方はそれを支えています。支えがなければ、前には出て行けません。

そして前に出た足は、今度は支える番になります。

すなわち、部活動で本気になって頑張って得た経験は、勉強にも生かされ、より優れた脳を作り、勉強に本気になった時の支えになってくれるという意味です。

「部活動」だけでなく、あなたたちが打ち込んでいるスポーツやピアノなどの習い事に置き換えても同じ事が当てはまると思います。



部活動だけでなく、生徒会活動もリーダーとして学校を引っ張る立場になります。「未経験の世界」に飛び込むとき、できるだろうかという不安は誰でもあります。それでも「やってみよう」という積極性がまずあれば、多少の失敗でも十分やっていけます。

竹馬メソッドで、ぜひいろいろなことに挑戦して、本気になって取り組んでみませんか。皆さんのさらに一回り成長する様子を楽しみにしています。

保護者の皆様

連日の酷暑と豪雨に見舞われた夏休みでしたが、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察いたします。教育相談では、ご多忙中、学校にお越し下さり誠にありがとうございました。

さて、今日から前期後半が始まり、お子様の生活の中心が学校になりました。終業式まで約1ヶ月ですが、次世代のリーダーとして意識を身につける大切な時期です。チャレンジする子どもたちに、保護者の皆様からも温かいご支援をどうぞよろしくお願い致します。

